

お金の不安なく
家を買うための
『資金計画』を
ご存知ですか？



Financial planning



お金の不安なく家を買うための『資金計画』をご存知ですか？

建前だけの『資金計画』と、真実の『資金計画』の違い

家づくりをしていく上で“資金計画”はとっても大切なことです。

でも、“資金計画”と一言で言っても、
それには大きく分けて2種類の資金計画があります。
簡単に言うと、『良い資金計画』と『ダメな資金計画』です。

あなたにとって大切な家づくりに100%失敗しないために、
そして『家なんて建てるんじゃなかった・・・』と
夜も眠れないぐらいの悔しさを噛みしめて過ごさないために、
大切なことをお伝えしたいと思います。

先程、資金計画には2種類あるとお伝えしました。
そして、これからお伝えさせていただく資金計画以外は、
すべて『ダメな資金計画』だと
思ってくださいと思います。

資金計画では大切なことが2つあります。
1つは“タイミング”で、もう1つは“内容”です。

多くの方が資金計画を、最初にしなければいけない
ということを知らないで家づくりをしてしまいます。
要するにタイミングを間違えてしまっているというわけですね。

具体的に申しますと、
ざっくりした予算を決めて、次に土地を探します。
もしくは住宅展示場や住宅会社に行って、
『土地がないんです…』とお伝えすると、
こぞってあなたが探したいエリアの土地情報を、
手当たり次第に不動産屋さんに連絡して、
なんの整理もすることなく大量に持ってきてくれるでしょう。

もちろん資金計画をしてないわけですから、
ざっくりした予算で土地を探すわけですし、
どんな土地を買えばいいのか基準もないでしょうから、
誰が見ても良さそうな土地、それは不動産屋さんが
『こりゃ放っておいても売れるぞー』って
ニヤニヤしながらいい値段をつけた土地に、
あなたは心を奪われることになるでしょう。

勘違いしないでくださいね。
そんな土地がダメだって言っているわけじゃないんですよ。
そんな土地はとつても高く値付けされているため、
誰もが買える土地ではないので、気を付けてくださいね、
そういう意味で言っているんです。

そして、土地を決めてから家の間取り計画に入ります。
気を付けていただきたいのは、
予算をわかったうえで要望を出してください！ということです。

家づくりは1生に1回のことです。
だからこういう風な、相反する気持ちが生まれます。
『1生に1回なんだから、妥協したくない…』
『失敗してもやり直せないから、我慢するところはしなきゃ…』

どうですか？
そんな葛藤の中、間取り計画をしていくわけですが、
住宅会社の営業マンにも2種類あります。
『せっかくなのに、そこを妥協するんですか？』
『この後の生活のことも考えて、ここはこうして予算を抑えませんか？』